

健康維持に興味持って

で 田 戸
つ り ま 看
り 護 護

地域に健康増進を呼び掛けようと、戸田市本町の戸田中央総合病院で12日、「看護まつり」が行われ、大勢の来場者でにぎわった。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日に合わせ、同院が毎年この時期に実施している。

(新井護)

今年は「自分で作ろう元気なからだ」をテーマに、同院の看護師、管理栄養士、理学療法士らが参加し、骨密度や血圧、体脂肪計測や、健康体操、栄養相談などが行われ、参加者に日ごろの体調管理の重要性を呼び掛けた。

今年からは新たに、衛生管理意識をさらに高めてもらうために、手洗いチェックコーナーと、家庭でできる防災看護コーナーを開設。洗った後の手に光を当て、汚れが落ちているかのチェックや、適切な包帯の使い方講習、いざという時に備え、家庭にあるストッキングなどを利用した応急処置法などが伝えられた。

また、看護師を目指す人向けに、同院の現役看護師のも



看護まつりではいざという時の防災看護方法も伝えられた
—12日午前、戸田中央総合病院

とで、仕事を学ぶ看護体験も実施。車いすの入院患者と触

れ合いながら病院外の散策を行つなど、看護師の仕事の一端を体験した。
体験に参加した川口市の高校3年生、荒波友季奈さん(17)は「大勢の患者さんを相手にする、看護師のイメージを知る」ことができた。将来は患者に寄り添う看護師になりたい」と笑顔。東京都調布市の高校3年生水野美彩さん(17)は「以前は患者の側から接していた看護師の仕事をも、看護する側から体験できた。常に近くで支えられる看

護師になりたい」と話していた。

同院の倉持玲子看護部長は「健康維持や自分の体に興味を持つてもらい、健康寿命を延ばす意識を持つてほしい」と話していた。